【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年3月7日(2022.3.7)

【公開番号】特開2020-162783(P2020-162783A)
【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)
【年通号数】公開・登録公報2020-041
【出願番号】特願2019-65145(P2019-65145)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　3/16(2006.01)
Ａ６１Ｂ　3/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　3/16　３００
Ａ６１Ｂ　3/10　９００
Ａ６１Ｂ　3/16

【手続補正書】
【提出日】令和4年2月25日(2022.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検眼に超音波を照射することにより被検眼の眼圧を非接触で測定する第１の眼圧測定手段と、前記第１の眼圧測定手段とは異なる方式により被検眼の眼圧を測定する第２の眼圧測定手段と、を備えることを特徴とする眼圧測定装置。
【請求項２】
第２の眼圧測定手段による測定の要否を判定する測定判定手段を備えることを特徴とする請求項１の眼圧測定装置。
【請求項３】
前記第１の眼圧測定手段によって得られた測定結果と、前記第２の眼圧測定手段によって得られた測定結果とを同一の表示手段に表示する表示制御手段を備えることを特徴とする請求項１～２のいずれかの眼圧測定装置。
【請求項４】
第１の眼圧測定手段が設けられた装置本体を備え、前記第２の眼圧測定手段は、ケーブルを介して前記装置本体に接続されていることを特徴とする請求項１～３のいずれかの眼圧測定装置。
【請求項５】
被検眼に超音波を照射することにより被検眼の眼圧を非接触で測定する第１の眼圧測定手段と、前記第１の眼圧測定手段とは異なる方式により被検眼の眼圧を測定する第２の眼圧測定手段による測定の要否を判定する測定判定手段と、を備えることを特徴とする眼圧測定装置。